

リンパ節転移のある前立腺がんの治療成績に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2021年2月26日～2022年3月31日

〔研究課題〕 前立腺全摘除術の骨盤リンパ節郭清にてリンパ節転移陽性と診断された症例に対する治療と予後に関する多施設共同後ろ向き観察研究

〔研究目的〕 帝京大学医学部附属病院泌尿器科では、泌尿器疾患の原因を明らかにし、正しく診断し、より有効な治療法を開発することを目標として、さまざまな研究を行っています。このような研究活動の基礎になるのが、実際に当科を受診された患者さんの診療録（カルテ）の情報です。患者さんの診療録に記録されている各種の臨床情報、検査結果、治療内容と経過などの医学情報は、病気の解明のために大変貴重なものです。そこで、当科では、過去に泌尿器科を受診された患者さんを対象として、診療録に記録されている情報を解析し、患者さんの診療に役立つ情報を取得し、医学の発展に貢献したいと考えています。

本研究では、前立腺全摘除術の骨盤リンパ節郭清にてリンパ節転移陽性と診断された患者さんが、受けられた治療内容やその治療効果などを調査することを目的とします。

〔研究意義〕 本研究によって、日本人における前立腺全摘除術の骨盤リンパ節郭清にてリンパ節転移陽性と診断された患者さんの治療実態が明らかになることが期待されます。

〔対象・研究方法〕 2006年1月1日から2019年12月31日までの期間に帝京大学医学部附属病院泌尿器科で手術を受けた前立腺がんの患者さんが対象です。血液検査・レントゲン画像データ・病理所見・治療の経過について診療録（カルテ）から調査します。治療開始時に未成年であった患者さんは含まれません。

〔研究機関名〕 九州大学泌尿器科を主管施設とし、帝京大学医学部附属病院を含む36施設

〔個人情報の取り扱い〕 本研究は、過去の診療録調査だけの研究ですので、患者さんの生命・健康に直接影響を及ぼすことはなく、患者さんから採取した試料を実験等に用いることはありません。氏名・生年月日・ID番号などの個人情報はすべて匿名化されてから解析されますので、個人情報がもれることはありません。研究成果は、医学の発展のために学会発表や学術論文発表などをさせていただくことはありますが、その際も個人の特定が可能な情報はすべて削除いたします。また、研究対象に該当するか否かにより、実際の診療内容に影響はすることはありませんし、研究にご協力していただけない場合でも診療上の不利益を受けることはありません。また、ご協力いただける場合でも謝金等は発生いたしません。研究終了後、データは帝京大学臨床研究センターにて10年間保管した後に廃棄します。

対象となる患者さんで、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：中川徹主任教授 研究分担者：山田幸央講師、金子智之講師

所属：帝京大学医学部附属病院泌尿器科

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211(代表) [内線 33709]